



朱三学校だより

特別号
学校評価特集



令和5年2月8日
京都市立朱雀第三小学校
校長 清水 玲子

Tel 312-3203
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai3-s/>

学校教育目標 **しなやかな心で なかまと共に学び合い 未来をつくりだす子**

令和4年度後期学校評価結果をお知らせします

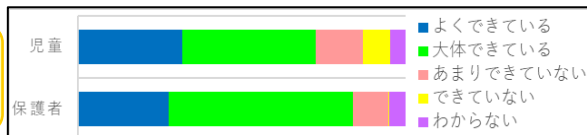
保護者の皆様のご協力を得て、後期学校評価アンケートを実施いたしました。保護者の皆様には、お忙しい中ご理解・ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。なお、評価項目は、「確かな学力(学習面)」「豊かな心」「健やかな体(健康・運動・安全面)」「その他(教育相談・家庭での様子・学校や家庭の様子)」の4観点に基づき、各項目は「実現度(よくできている・だいたいできている・あまりできていない・できていない・わからない)」の5段階でお答えいただきました。

集計結果から、実現度の状況を分析し、成果や課題をご報告いたします。

<回答数について>

- ・250名の方から回答をいただきました。実施期間の児童数が324名(家庭数254)でしたので、**約77%**の方のご意見をいただいたことになります。

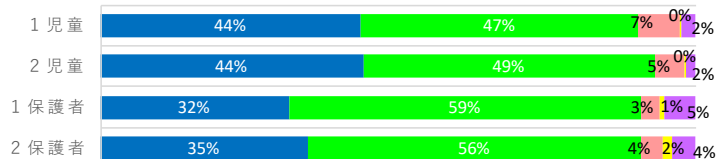
確かな学力(学習面)



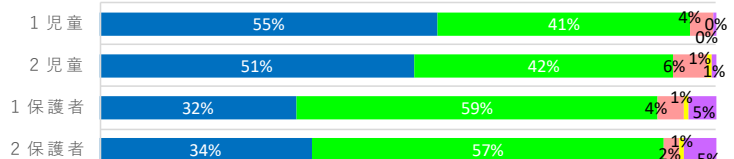
よくできている・大体できている ⇒ プラス評価
あまりできていない・できていない ⇒ マイナス評価

※上記のように捉えて考察・分析しています。
※小数点以下を四捨五入している数値です。

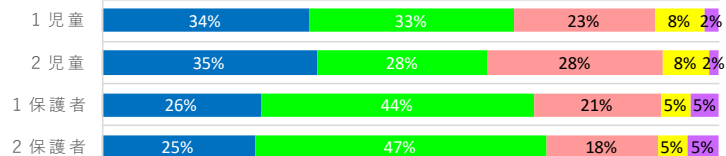
1. 授業中、めあてに向かって学習している。



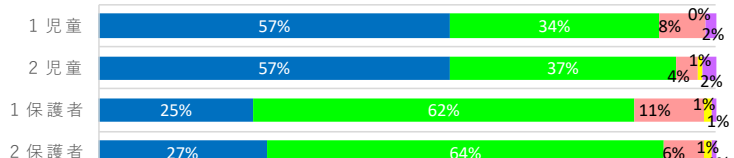
2. 授業中、先生や友だちの話をしっかり聞いている。



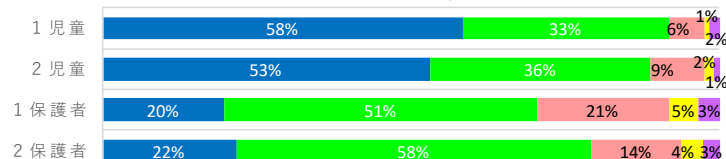
3. 授業中、自分の考えや意見を表現(発表)することができる。



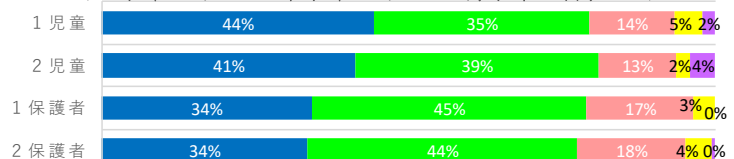
4. 授業の学習内容を理解している。



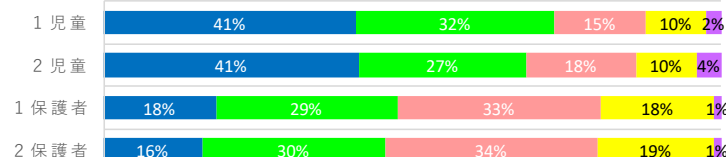
5. わからないことや困った学習内容があっても、粘り強く解決しようとしている。



6. 家で、宿題や自主学習などを行っている。 (低学年30分以上・中学年45分以上・高学年1時間以上)



7. 1日30分以上、本を読んでいる。(朝読書も含む)



1児童 ⇒ 前期児童結果
2児童 ⇒ 後期児童結果
1保護者 ⇒ 前期保護者結果
2保護者 ⇒ 後期保護者結果 を表しています。

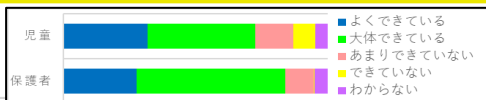
次ページに続きます→

学習内容の理解が増加！さらに…、全ての児童が「わかった！」を目指すこと

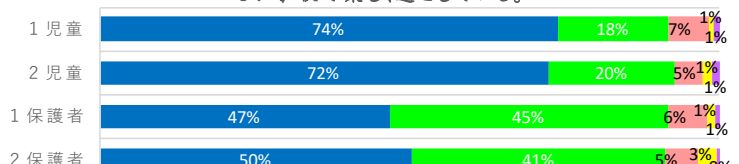
設問4「授業の内容がわかっている。」は、児童が約94%、保護者が約91%と、児童・保護者共にプラス評価が上がりました。また、設問1「授業中、めあてに向かって学習している。」についても、前期同様、児童・保護者共にプラス評価が90%以上の割合でした。学校では、様々な教科の学習で、一人一人の児童が「めあて(学習問題)」に向かって課題解決する授業を目指し、取組を進めてきましたので、今回の結果からは、その成果の一端が見られたと考えます。その一方で、「学習内容があまり理解できていない。理解できていない。」と回答した児童が約7%いることは看過できません。**全ての児童にとって、「学習内容の理解が確かなものになること」**を目指し、今後も授業改善の努力を継続していきます。

設問5「わからないことや困った学習内容があっても、粘り強く解決しようとしている。」は、保護者が前期約71%から後期約80%と、プラス評価が上昇しています。これは、ご家庭での家庭学習の様子から、「どんな学習問題でもあきらめずに頑張っている児童の様子が見られる。」ということが考えられ、そのような姿が前期よりも増えたことは嬉しい結果です。しかし、その一方で児童は、前期約91%から後期約89%と、プラス評価が少し下がったという結果が見られました。これは、学年の学習内容が進むにつれて、学習内容の難易度が増し、「わからない…、困った…」という児童が増えてきたことが考えられます。『困難なことがあってもチャレンジし、粘り強く努力すること』は、今後の予測不可能な時代をよりよく生き抜いていく中で、大切な力の1つだと考えます。今後も教職員一丸となって、一人一人の児童の『困り』を見取り、支援や手立ての工夫を考えて、それぞれの児童に寄り添って取り組んでいけるよう努力していきます。

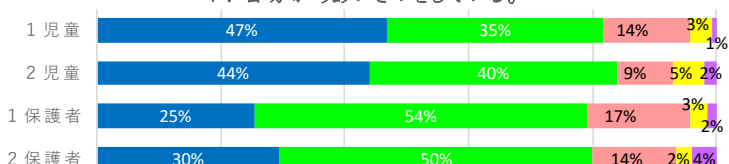
豊かな心



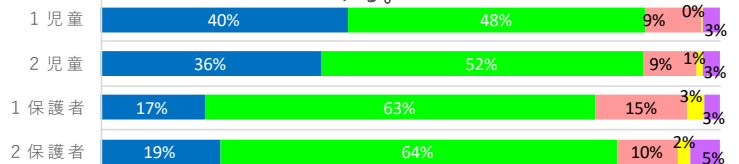
8. 学校で楽しく過ごしている。



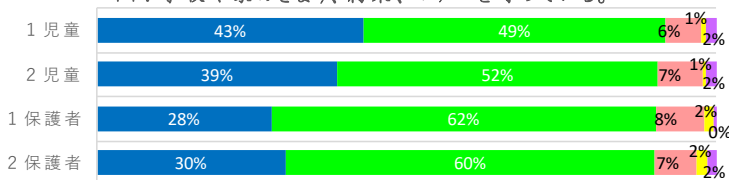
9. 自分からあいさつをしている。



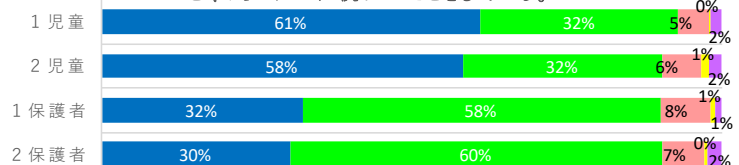
10. そのときにふさわしいか考えて、正しい言葉づかいをしている。



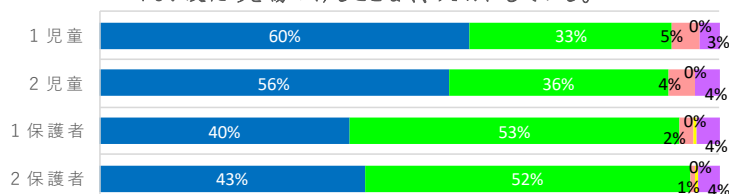
11. 学校や家のきまり、約束、マナーを守っている。



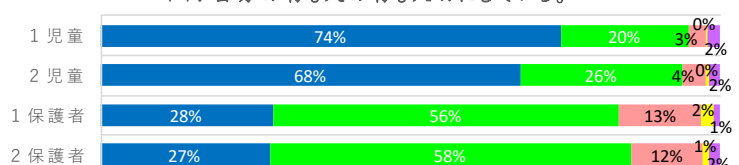
12. 当番活動（給食や掃除、委員会）や家での手伝いなど、人のために役立つことをしている。



13. 友だちを傷つけることなく、大切にしている。



14. 自分の物も人の物も大切にしている。



『折り合いを付ける力』と『自分たちで考え、課題解決に向けて行動する力』

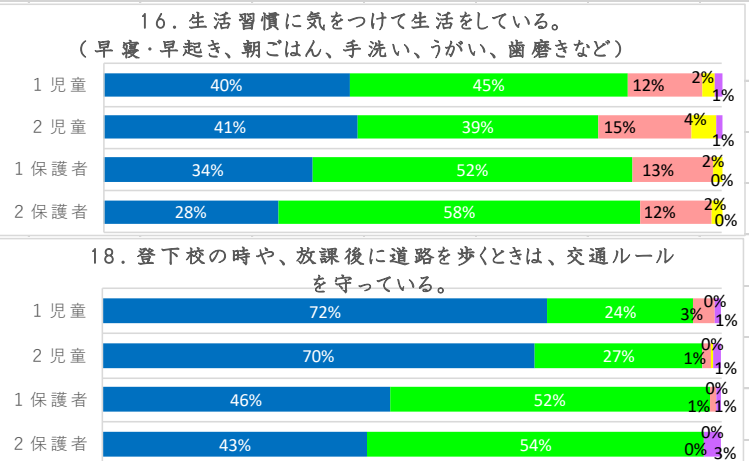
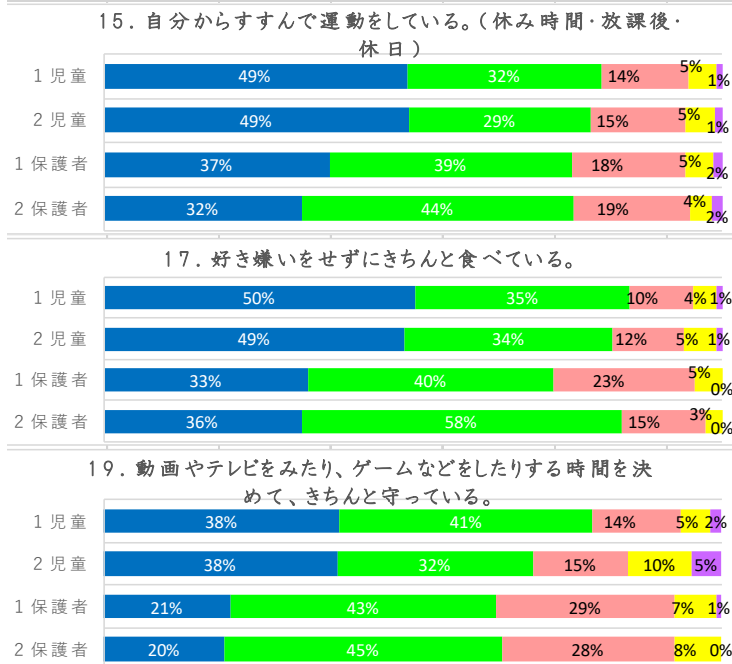
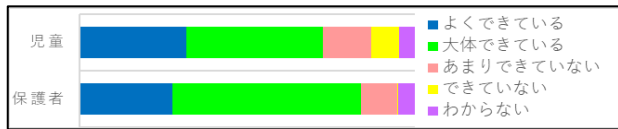
設問8「学校で楽しく過ごしている。」、設問11「学校や家のきまり、約束、マナーを守っている。」、設問12「当番活動など、人のために役立つことをしている。」、設問13「友だちを傷つけることなく、大切にしている。」は、前期と同様で児童・保護者共にプラス評価が90%以上の割合でした。特に、「学校で楽しく過ごしている。」と、プラス評価で回答した児童の割合が増えたことは嬉しいのですが、マイナス評価の児童が、「学校に来ることが楽しい。」と思えるように、今後も努力を続けます。

また、保護者の方の自由記述では、「友だちとのめ事を自分たちで解決できるようになってきた。」というご意見もいただきました。学校では、教科学習のみならず、生活等において、相手ともめてしまったとき、それでも、なんとかやっていける『コミュニケーション能力』をつけていきたいと考えます。人は一人一人違うので互いの意見がぶつかるのは当然です。だからこそ、そういうときに『互いに少し不満だけど、とりあえずやっていける解決策を見いだせること=折り合いをつける力』を練習していくのが大切です。すぐにうまくいかなくても、何回も何回も練習するうちに、少しずつコミュニケーションが得意になっていきます。今後も、児童がそういう経験をしながら成長できるように取り組んでいきます。

設問9「自分からあいさつしている。」は、児童が88%、保護者が80%のプラス評価だったので、『挨拶』についてはまだ課題があると言えます。しかし、前期（児童82%・保護者79%）の結果に比べると、児童・保護者共にプラス評価が増加しており、前期に比べると「少しできるようになってきた。」と言えます。2・3学期には、計画委員会の児童が中心となって、「朝のあいさつ運動」に取り組み、『自分から挨拶できる朱三校』を目指しました。まだまだ、全ての児童ができるようになっているとは言えませんが、このように児童自らが『自分たちの課題に目を向け、課題改善のために行動すること』をきっかけに、『挨拶の輪』を今後もさらに広げていきます。

次ページに続きます→

健やかな体（健康・運動・安全面）



「守ることができていない」児童が前期よりも増加・・・

設問18「登下校の時や、放課後に道路を歩くときは、交通ルールを守っている。」は、前期と同様、児童・保護者共にプラス評価が、95%以上の割合で、交通ルールに対する意識の高さが見られます。今後も、毎月15日に行っている「安全の日」を中心に、安全指導を継続していきます。

設問15「自分からすすんで運動をしている。」は、児童78%（前期81%）・保護者76%（前期75%）と、プラス評価が児童・保護者共に80%以下という課題が見られました。昨今では新型コロナの影響で外出自粛が続いた結果、社会的に「児童生徒の体力低下」が心配されており、本校もその例外ではありません。そこで、令和5年1月より、中間・昼休みの運動場遊びの分散遊びをなくし、運動場で体を動かす機会を増やしました。また、1月16日からは、中間マラソン（※週に約2回程度）を実施し、5分間自分のペースでランニングする機会もつくっています。今後も、「児童が運動できる機会・運動しようと意欲的になれる工夫」を考え、取り組んでいきます。

設問19「動画やテレビをみたり、ゲームなどをしたりする時間を決めて、きちんと守っている。」は、プラス評価が児童70%（前期79%）・保護者65%（前期64%）と、依然として低い割合でした。特に児童は、前期よりも「**守ることができていない**」と回答する児童が増加しており、大きな課題の1つだと考えています。児童の回答状況から考えると、「動画やテレビ、ゲームなどをする時間を決めていない。」もしくは、「決めていたが守っていない。」という2つの状況が伺えます。また、「家で動画視聴やゲーム、スマホをさわったらなかなか終われずに困っている。宿題よりもそちらが優先になっている。」という保護者の方のお声も、前期から引き続いて聞かれます。

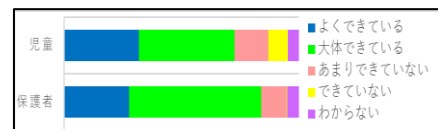
動画（タブレット端末・スマホのSNSも含）・テレビ（動画視聴含）・ゲームは、今や日常で当たり前のツールとなり、特にスマホやタブレットなどのモバイル端末の登場で、インターネットは利便性・効率性がすこぶる高まりました。しかし、それらの使い方を一歩間違えると、心と体に悪影響を及ぼす結果となり、実際、1日中スマホを手放せない中高生が増加の一途をたどっているそうです。そして、そのような状況が、近年では小学生以下にも広がりつつあるようで、「**動画・テレビ・ゲームの使用ルールを決めること、そのルールを守るようにすること**」は、**小学生のうちに習慣付けたいこと**と言えます。学校では、今後も、情報モラルの指導や、動画・テレビ・ゲーム等について「使用時間はどうか？使い方は適切か？」という話を適宜行っていきますので、ご家庭でも共に取組を進めていただきますようお願いいたします。以下にポイントを紹介しします。参考にしてください。

【動画視聴・ゲーム・スマホ等がやめられない…。困ったときの対策ポイント】

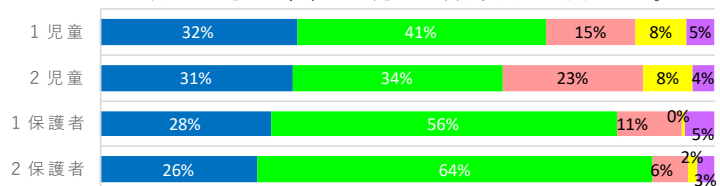
1. 使用時間や方法についてのルールや約束事を、子どもと一緒に決めて徹底する。
2. 実際の使用時間を視覚的に示し、「現状どうか？今後どうなるか？」を冷静に話し合う。
3. まずは使用時間を減らすことから始める。←できたら褒める♪（保護者制限をかけることもできます。）
4. 「家族全員が使用しない」という時間をつくって、家族みんなのコミュニケーションを深める。
5. 動画視聴・ゲーム・スマホ等以外の『楽しみ』を一緒に見つける。（一緒に外遊びする等も○）

☆ルールに入るとよい約束事
・「相手が傷つくようなことはしない。」
・「約束が守れなかったときは、使用できなくなる。取り上げる。」
・「(履歴等の)中身を確認することがある。」

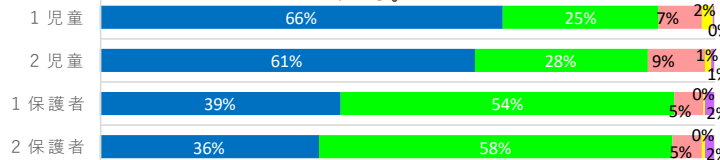
その他（教育相談・家庭での様子・学校や家庭の様子）



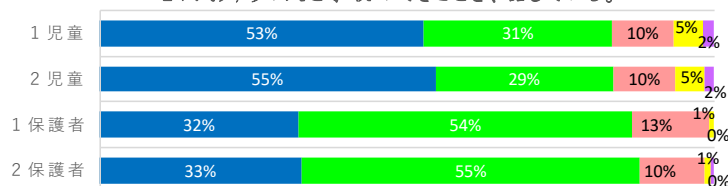
20. 困ったときなど、学校の先生に質問や相談をしている。



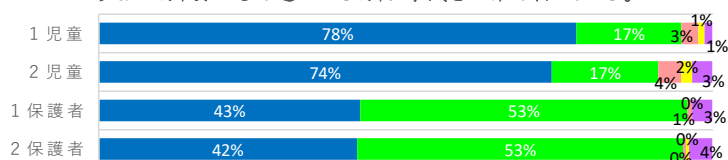
22. 学校からのお便りやプリントを、きちんとおうちのの人に渡している。



21. おうちの人と学校のできごとを、話している。



23. 担任の先生や他の教職員の方たちは、感染症が広がらないよう安心して過ごせるように、気をつけてくれている。



困ったときに相談できるように・・・

設問20「困ったときなど、学校の先生に質問や相談をしている。（保）困ったときなど、教職員に質問や相談をしやすい。」は、児童が65%（前期73%）、保護者が89%（前期84%）という割合でした。保護者の方は、前期に比べてプラス評価が増加していることから、「困ったことを教職員に質問や相談してみよう。」と思ってくださっている方が増えたと考えられます。マイナス評価だった方も、気軽に質問や相談していただける環境づくりを今後も工夫します。

その一方で、児童については、前期に比べてプラス評価が減少しました。これは、「困ったときはないから、質問や相談はしていない。」という児童の回答が含まれているのかもしれませんが、「**困ったことを質問や相談しにくい。いつしたらよいかわからない。**」と**考えている児童がいる状況は看過できません。**これまでも、学校では「教育相談」として、一人一人の児童との個別相談会を年間2回実施しています。今後も、このような「個別に相談できる機会」は継続しながら、日々の学校生活において、一人一人の児童の様子をさらによく見取っていき、「質問や相談をしようと思っても行動できない児童」へ働きかけを行っていきたいです。さらに、**気に掛かることは教職員一丸となって連携し、教育活動を推進**します。保護者の皆様も、何かご相談されたいことがありましたら、今後ご連絡をよろしくお願い申し上げます。

自由記述のご意見 ※マスク着用、1・2年生の廊下からの参観については、以前の学校によりで取り上げた通りです。

今回の学校評価アンケートでいただいたご意見の一部を紹介させていただきます。いただいた全てのご意見は、教職員で共有し、今後に生かしていけるようにします。今後も何かご不明点がありましたら、いつでも学校までご連絡ください。

・学校イベント（授業参観や個人懇談会、学校行事）について…

→今回の個人懇談会決定通知が遅いとのこと指摘をいただきました。計画的にお知らせが配付できるように配付日時の検討をいたします。行事予定でご不明点やお仕事の都合でお急ぎのときがあれば、いつでもご連絡ください。また、「今年度、学校行事（春・秋の遠足、運動会、学習発表会など）を実施してくれて良かった。」という肯定的なご意見もいただきました。参観の回数（今年度は月に約1回程度）は来年度検討し、今後も感染対策を講じながら、児童が楽しみにしている行事や児童が活躍できる機会をつくれるように工夫していきます。

・GIGA端末について…

→GIGA端末の課題の量によっては、児童の視力低下や体調が心配であるご意見をいただきました。今後も適切な課題の量を考慮し、取組を進めていきます。また、端末を持ち帰る頻度・家庭での使用制限についてのご意見もいただきました。端末は、小学校だけでなく、今後中学校でも活用していきます。小学校のときから各学年の発達段階に応じて、「端末活用の経験」を積み重ねながら「望ましい使い方」を指導していきます。家庭での使用制限については、「現段階では夜9時まで」という制限（全市共通の制限機能）がかかっています。今後、新たな制限機能が追加されれば、またお知らせします。

・ホームページ（HP）掲載、連絡方法について…

→HPの掲載に学年の偏りが見られること、連絡方法（紙面→メール配信へ）についてのご意見をいただきました。HPの掲載については、2学期以降、取り組んできたところではありますが、今後も努力いたします。また、HP以外にも、学校だよりやクラスの予定表等を通して、学校や学年の様子の詳細をお伝えしている場合もあります。ぜひ、そちらも併せてご覧ください。なお、連絡方法は、紙面でお渡ししているものをメールで配信するのは、今のところ予定していませんが、また検討していきます。

・体育、給食について…

→体育では、【寒いときの長ズボン着用】についてご質問をいただきました。寒いときの体育の学習時の長ズボンは防寒着と同じで、「体ならし（ウォーミングアップ）」のときには着用可能です。体ならし後は、体育学習時の安全確保のため、防寒着や長ズボンは原則脱いでから活動します。（フードやファスナーが付いていない長袖の服は着用可※4月配付済プリントより）給食では、【黙食】へのご質問がありました。現在は、「必ず黙食をする。」ではなく、「給食時は食事マナーを守る（大きな声で話をしない）ようにする。」という風に声を掛けています。今後も、子どもたちの安心・安全を考え、取組を推進していきます。